



令和2年12月24日

年末年始は自宅で過ごすことが多く、ろうそくやストーブが原因となる住宅火災が多発します。家族で安全に年を越せるように火気の扱いには注意しましょう。

◆事例1 ろうそくの着衣着火

仏壇のろうそくを点けた後、仏壇内の配置を変えようとして、服の袖に灯明の火が着火しやけどした。

※ポイント

- ・仏壇を整理する場合は、ろうそくを点けないで行う。
- ・火を扱うときは、裾や袖が広がっている衣服は着火しやすいので注意する。
- ・もしも衣服に火が付いたら慌てずに、『ストップ・ドロップ&ロール』



慌てて走ると風が起こり、かえって火の勢いが大きくなります。ご注意ください！



◆事例2 神棚のろうそく火災

神棚のしめ縄や御幣を新しいものに変えた後に、ろうそくによる火災が多く発生します。

※ポイント

- ・新しい神棚飾りは大きさが変わったり、配置を変えた結果、ろうそくの火が触れ出火する危険性があります。ろうそくの火から安全な距離をとる。
- ・ろうそく立てからろうそくが落下しないようサイズの合ったものを使用する。
- ・ろうそくを点けた後は、その場を離れない。



◆事例3 ストーブ火災

ストーブ上に洗濯物が落下出火、給油中に灯油が漏れて出火、ストーブで過熱されたスプレー缶が爆発するなど、ストーブには火災危険が潜んでいます。

※ポイント

- ・使用中のストーブの付近には洗濯物は絶対に干さない。
- ・給油をするときは必ず火を消す。カートリッジのキャップはしっかり閉める。
- ・スプレー缶などはストーブの付近には保管しない。室内でガス抜き作業はしない。



◆事例4 こんろ火災

天ぷら調理中にその場を離れ出火、服の袖にコンロの火が着火しやけどするなどの火災が多く発生しています。またコンロ周りの油汚れは火災拡大につながります。

※ポイント

- ・こんろ使用中はその場を離れない。離れる場合は確実に火を消す。
- ・袖が広がっている衣服は、火が着火しやすいので注意する。
- ・魚焼きグリルやコンロ周りはこまめに清掃する。



大掃除と一緒に住宅用火災報知器の点検をしましょう。音が鳴らないなどの異常があったら要交換です。

全国統一防火標語

『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』



【問い合わせ先】
青森地域広域事務組合
消防本部予防課
TEL 017-775-0853